

エコカラット施工時の 密着不良と剥がれ

トラブル事例 エコカラット

問題

クロスを剥がさずにエコカラットを施工したことによる密着不良、および躯体壁にエコカラットを施工したことによる剥がれが発生しました。

協会の見解

要因

クロス上への施工による密着不良

エコカラットをクロス(壁紙)の上から直接施工した場合、エコカラットはクロス表面に接着されますが、クロス自体と下地との接着力には限界があります。経年劣化や湿気などの影響でクロスが下地から剥がれると、エコカラットもクロスと一緒に剥落してしまいます。また、クロスの表面素材(ビニール系、撥水加工など)によっては、接着剤との相性が悪く、十分な接着強度が得られない場合があります。

対処

適切な下地処理

エコカラットを施工する際は、必ずクロスを剥がしてから施工してください。クロスを剥がした後は、下地の状態を十分に確認し、浮きや剥がれ、ひび割れなどがある場合は施工前に補修を行ってください。下地が平滑でない場合は、パテを使用して平滑に仕上げしてから施工してください。下地の凹凸はエコカラットの密着不良や仕上がりの美観に影響しますので、丁寧な下地処理が重要です。下地処理後は十分に乾燥させてからエコカラットの施工に進んでください。

接着剤(のり)の使用量について

上がりに影響します。逆に少なすぎると接着面積が不足し、密着不良や剥落の原因となります。クシ目ゴテを使用し、接着剤を均一に塗り広げてください。クシ目を一定方向に揃えることで、塗布量のムラを防ぐことができます。メーカーが推奨する塗布量を必ず守り、エコカラットを貼り付けた後は気泡が入らないようしっかりと圧着してください。

エコカラット施工前の確認事項

1 下地の種類と状態の確認

下地の種類(クロス、コンクリート躯体、石膏ボードなど)を確認し、それぞれに適した下地処理を行ってください。
クロスが貼られている場合は必ず剥がし、躯体や石膏ボードに直接施工できる状態にしてください。

2 下地の平滑度・強度の確認

下地に凹凸、浮き、ひび割れ、脆弱な部分がないか確認してください。
不具合がある場合は、パテ処理や補修を行い平滑で強固な下地を確保してから施工に進んでください。

3 施工環境の確認

施工時の温度・湿度を確認してください。
極端に低温または高温の環境、湿度が高い環境では、接着剤の性能が十分に発揮されない場合があります。
メーカーが推奨する施工環境条件を守って作業を行ってください。

4 接着剤の適合確認

使用する接着剤がエコカラットに適合しているか確認してください。
指定外の接着剤を使用すると、密着不良や変色などの不具合が発生する可能性があります。

メーカー施工要領の遵守

エコカラットの施工は、LIXILが発行する施工要領書に従い、適切な下地処理と施工方法で行ってください。施工要領書には、下地の種類別の処理方法や接着剤の塗布量、養生時間など、施工に必要な情報が詳しく記載されています。不明な点や判断に迷う場合は、施工前にメーカーへお問い合わせいただくことをお勧めします。